

園長通信

(令和8年度4月号)

幼稚園型認定こども園高槻双葉幼稚園
園長 岡部 祐輝

【期待と戸惑いが交錯する4月】

この度は、お子様のご入園・ご進級誠にありがとうございます。お子様の成長や変化を、特にこの4月はお感じになる場面が多くあるのではないかと思います。幼稚園での生活がお子様、そして保護者の皆様にとって、楽しく、そして安心して過ごすことができるよう、職員一同努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

4月は、新入园児、在園児問わず「変化」が訪れやすい時期と言えます。その「変化」はできなかったことができるようになったり、自由や選択肢が広がったりする場面で「うれしい」、「楽しい」と感じることもあれば、大人が一見「あれ？これはポジティブなことだけだな」と思うことでも、「変化すること自体が戸惑い」と感じるケースもあります。変化が生じることで、戸惑い、4月初泣くなど、「嫌」という思いを様々に表すこともあると思います。園として、「家庭以外にも安心できる大人がいる」という経験や、「自分の好きなことに興味をもってくれる存在がいる」という経験などができるよう、まずは「遊びと生活」の中で、豊かな遊びの環境、コミュニケーションを大切に進めていきたいと思っています。

また、「できることやわかることが良いこと」という部分が強調されることで、「できないことやわからないことへの恐怖」などネガティブな感情が出やすい時期とも言えます。日頃から大切ではありますが、4月は特に、「やろうとする姿」など「過程への承認」を大切に私たち大人が伝えていくことも大切にしたいと思っています。

【園長通信で共有させていただきたいこと】

令和7年度園長通信4月号でも、本通信の位置づけを記載しており、再提示となり恐れ入りますが、本通信は以下の通り、位置づけを考えております。

- 現在の幼児教育・保育などで大切にされている考え方の解釈や説明
- 幼児教育・保育をはじめとする教育・保育現場で見聞きする言葉の説明
- 幼稚園や幼児教育の裏側（意図やねらい）の紹介
- 子どもたちの力（すごい！/持っている力）の紹介
- 子どものそばにいる私たち大人が大切にしたいかわり

など、取り上げる予定です。

また、園では、instagram（タイムリーに保育や様子を伝えたい）、在園児ドキュメンテーション（保育者からの目線で子どもたちのリアルな姿や言葉を過程とともに伝えたい）、動画配信（文字だけでは伝わりにくいことを音声言語や映像を通してよりクリアに伝えたい/主に在園児）など、目的やお届けしたい情報の内容により、発信ツールを選択しています。

その中でも園長通信は特に、「**字が多い読み物**」 3月下旬のある日、園庭を歩いていると、預かり保育（ホームクラス）や2号認定クラス（フレンズクラス）の子どもたちが元気よく遊んでいました。ある日、私が園外の会議に出向こうとしたときに、ある子どもが声をかけてくれました。

【成長を間近で感じるよろこび】

3月の心温まるエピソードになります。

年長のあるクラスから、以下の招待状を受け取りました。



「給食を一緒に食べませんか？」と書いてあり、「チケット」を付けて渡してもらいました。当日、クラスに向かうと、入口で「いらっしゃいませ」と店員さんとしてふるまい、私はチケットを渡しました。案内された席に行くと・・・「シートベルト」がついています！（安全配慮がなされている！）



そして、一緒に給食を食べているときには、まるでレストランのような雰囲気音楽がかかっていました。そして帰る時にもまた見送りをしてもらいました。この日は、卒園式が終わった翌日で、年長クラスは、「幼稚園生活でやりたいことを最後思いきりして、卒園しよう！」の日で最後の給食の日でした。子どもたちがやりたいことを形にし、そして私たち職員に「一緒に食べよう」と誘っただけではなく、楽しい会にしようと考え、子どもたちの豊かなアイデアがたくさん詰まった保育室で時間をともに過ごせたことがとてもうれしかったです。その姿を思い返しながら、今年度も子どもと職員がともに、やりたいことを形にしていくプロセスを全力で援助できるよう、園長として努めていきたいと思います。